

## 令和6年度事業報告書

愛の浜園

### 1. 令和6年度を通して重点的に取り組む事業

#### (1) 職員確保の取り組み

奄美看護福祉専門学校に協力を呼びかけ、令和6年度に新卒職員を1名雇用いたしました。今後とも、専門学校と連携を密にして、新たな職員を確保できるよう、本園での実習や年間行事のボランティア依頼など積極的に取り組み、本園の業務内容を知っていただく機会を増やし、新卒雇用が継続するよう取り組みます。

#### (2) 障害者雇用の推進と職場環境の整備（中長期計画：重点戦略テーマ1,2）

社会福祉法人慈愛会は、令和2年度に「もにす認定（障害者雇用中小事業主認定）」を受けておりますので、障害者支援施設である愛の浜園においては、特に障害者雇用に積極的に進めていく必要があるとの考えのもと、現在は4名（常勤1名、短時間勤務3名）となっております。障害者雇用を推進することで職場環境を改善し、障害者以外の職員もより働きやすい職場環境を目指すと同時に、支援員が利用者と向き合う時間を充実させるよう取り組みました。

引き続き、業務日誌や健康管理日誌から業務における困難な課題を確認し、身体的及び精神的な悩み等を含む体調面を把握し対応することができました。また、障害者就業・生活支援センターなどの関係機関との連携を強化し、障害者雇用における課題等を他の事業所とも共有し職場環境の改善に努めました。

#### (3) 短期入所ニーズへの対応（中長期計画：重点戦略テーマ3）

家族から急病等により短期入所の要請があった場合には、定員枠を調整しながら、受入を行いました。

また、短期入所サービスを充実するため、市町村からの情報を収集し、相談支援事業所と連携し、本園におけるサービス利用について検討してまいりました。

#### (4) グループホーム再建に伴う新たな拠点の整備（中長期計画：重点戦略テーマ4）

令和3年1月に発生しましたグループホームフレンド3の火災以降、再建計画を進めてまいりましたが、公益財団法人慈愛会奄美病院横の敷地内に複合施設を建設し、その1階部分に移転することで決定し、令和6年度に工事着工し令和7年3月に竣工しました。3月末には新たなグループホームへ6名の利用者が入居、新生活に不安を感じないようにサポートしてまいります。

令和6年10月より、これまで使用していた障害福祉システムをクラウド型のシステム（ほのぼの）へ移行することで、離れた事業所間でもネット環境があれば情報共有が可能となったことにより、このシステムを活用することで、利用者へスピーディかつ質の高いサービスを提供できるようになりました。

#### (5) 社会福祉法人としての社会貢献活動の取り組み

本園では、地域支え合い体制づくり協議体と連携して、要望のあった根瀬部町内会と覚書を交わし、令和5年10月から月2回土曜日に買物支援を試験的に実施し、特に不都合もなかったため、令和6年1月から本格的に実施しております。令和6年度も同様に実施いたしました。

## 2. 各事業所の取り組み

### (1) 施設入所支援（定員 40 名）

施設入所支援では、利用者の要望や健康面を考慮した個別支援計画を作成し、利用者、ご家族のニーズや目標が達成できるよう、日中に利用する他事業所とも連携を図りながら取り組みました。また、利用者一人ひとりに対応できるよう施設内の環境整備、職員のスキルアップを図るとともに、必要に応じて外部講師を依頼しながら業務に関する研修を充実させ、利用者の方々が快適な環境で生活できるようにサービスを提供してまいりました。また、障害支援区分の関係で短期入所を 31 日間利用する形として市町村と話し合い受け入れることができました。（期中平均 38.6 名）

令和 7 年 3 月分より、これまで未算定であった「重度障害者支援加算」を取得することができ、加算を取得したことで、「障害福祉サービス等事業収益」が生活介護も含め前年同月比 13,188 千円増となりました。

### (2) 生活介護（定員 52 名）

生活介護では、利用者の年齢、障害特性およびニーズに合わせて、参加する活動班を決定し、その中で個別計画や個別目標を設定し支援を行いました。活動内容としては、班別作業、クラブ活動、レクリエーション、ボランティア活動、年間行事および講師を招いた活動等を実施し、利用者へのニーズに対応できるよう努めてまいりましたが、利用者数は、期中平均 49.6 名とほぼ前年実績と同様の結果となりました。こちらも引き続き、利用者増加に向け、取り組んでいきたいと考えております。

### (3) 就労継続支援 B 型（定員 18 名）

利用者の高齢化、障害の重度化が進んでいることから、作業効率や利用者の習熟度だけでなく、身体および精神面の健康にも考慮しながら、障害特性を考慮したサービス提供を行う必要があるため、大島地区衛生組合から受託している分別事業だけに依存しないよう、他の作業収益の向上を目指したことで、ほぼ前年同様の実績となりました。令和 6 年度中に新規利用者が 1 名増となりましたがまだ、定員には達していません。（期中平均 10.7 名 ※前年実績 11.2 名）

### (4) 短期入所（定員 4 名）

奄美市唯一の障害者支援施設として、利用者およびご家族のニーズに対応できるよう努めてまいりました。また、ご家族の負担軽減や、緊急時に安心して利用できるよう相談支援事業所と連携を図りながら、日程の調整等を行い受入することができました。

（平均延べ人数 61.8 名 ※前年実績 59.1 名）

### (5) 日中一時支援

日中一時支援においては、ご家族の困り事や相談を受け、相談支援事業所や市町村と連携を図りながら、在宅の障害者の必要なサービスに繋がるよう支援することができました。

### (6) 共同生活援助事業フレンド（定員 22 名）

共同生活の場において、食事の提供、相談その他日常生活の援助を行い、また余暇支援、外出支援および地域行事への積極的な参加により、地域の一人としての自覚を持って生活出来るようにした事で自立した生活が送れるように支援することができました。（期中平均 22 名）

### (7) 給食

献立・栄養管理については、栄養基準に沿った献立を作成し園内に献立表を掲示し、利用者の

ご家族には献立表を送付しました。毎月給食会議を行い、利用者の健康管理と業務改善に努めました。衛生管理につきましては、毎月1回給食職員の検便を実施し毎日体調を確認。食品や調理器具の洗浄には電解水生成装置を活用し調理員の負担を軽減し、より充実した衛生管理につとめました。全厨房施設内の害虫駆除は年2回実施し、月1回の大掃除を実施しました。

調理職員の退職者が多く、人材不足の面からも、完全調理品を利用することで、業務の負担軽減や人材確保に取り組みたいと思います。

### (8) 相談支援事業所「ていだ」

利用者の皆様のニーズや困り事に対し、サービスの提案や戸別訪問を行い、計画の作成や調整を行ってきました。また、スキルアップや相談員同士の連携のため、相談部会への参加、機能強化型の協定（3事業所）を結び、地域の情報を得る努力をしております。また、障害児のケースにも年々力を入れてきており、利用契約者（208件）は増えてきています

## 3. 年間行事実績及び研修実績

### (1) 年間行事及び研修

月	行 事	職員研修・会議等
4	・婦人科検診・旧桃の節句	
5	・開園記念日・家族会総会 ・県障害者スポーツ大会	
6	・遠足・町内敬老会 ・総合防災訓練	
7	・夕涼み会	
8		
9	・町内豊年相撲見学 ・園内敬老会	・モニタリング・個別支援計画書作成
10	・知根小学校運動会	
11	・知根小学校学習発表会	・愛の浜園創立50周年記念式典 ・法人合同研究発表会
12	・クリスマス忘年会 ・感謝祭	
1	・合同年の祝い・花見遠足	・事業計画、予算策定 ・保護者、施設職員研修会
2	・総合防災訓練	・障害者施設合同研修会
3		・モニタリング・個別支援計画書作成
その他	(年1回) ※レジオネラ属菌検査  年2回(夏、冬) ※害虫駆除	(月一回) ・ケース検討会議・職員研修会・給食会議 ・施設入所、生活介護会議 ・フレンド(グループホーム)会議 ・就労会議 ・自治会(施設入所、グループホーム)

	※総合防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理委員会 <u>(半年ごと)</u></li> <li>・身体拘束廃止委員会</li> <li>・モニタリング話し合い・個別支援計画協議 <u>(適宜)</u></li> <li>・人権擁護委員会      ・虐待防止委員会</li> <li>・感染症対策委員会    ・新任職員研修会</li> </ul>
--	---------	---

## (2) 医務関係

- ア. 利用者の高齢化に伴い、健康維持・増進、疾病予防を目的とした早期発見、早期治療に努め、訪問歯科診療を継続的に活用し、治療や入れ歯の作製・修理、口腔ケアの強化に取り組みました。
- イ. 新型コロナやインフルエンザなどの感染症対策を随時行い、新しい生活様式に基づき委員会等にて情報の共有や対策について検討し、感染拡大防止に努めました。今年は感染性胃腸炎の流行がありサービス提供を制限せざるを得ない状況となりました。
- ウ. 利用者の高齢化・重度化に対して、必要に応じて嘱託医やかかりつけ医との連携を図り、健康管理に努めました。

## (3) 年間実績

月	内 容
4	身体測定、相良病院巡回検診車による乳がん検診（利用者、職員対象）
5	奄美市ミニ人間ドック申込み、血中濃度測定（対象者のみ）
6	奄美市婦人科検診（子宮がん、骨粗鬆症）、歯科検診
7	定期健康診断（利用者）、定期健康診断（職員）・腰痛健康診断（職員）
8	奄美市ミニ人間ドック（腹部超音波、胃がん、大腸がん、前立腺検査）・結核検診
10	職員便検査
11	インフルエンザ予防接種（利用者・職員）、脳波検査（対象者のみ）
12	水質（レジオネラ属菌）検査
2	夜勤者健康診断・腰痛健康診断（職員）
3	定期健康診断（利用者）
その他 取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談（奄美病院）：毎月1回      ・衛生管理委員会：毎月1回</li> <li>・体重・血圧測定：毎月1回              ・体温測定：起床時</li> <li>・感染症予防対策委員会（感染症情報共有、感染予防対策）</li> <li>・訪問歯科診療：週1回（虫歯の治療・義歯の修理・口腔ケア）</li> <li>・重度心身障害者申請書提出              ・害虫駆除/年2回：サポートライフ</li> </ul>

## 4. 施設管理

### 主な設備投資実績

・グループホーム再建費用（設計監理料含む）	・・・	148,991,700 円
・災害用発電機	・・・	22,990,000 円
・屋根防水補修工事	・・・	8,063,000 円
・障がい福祉利用者管理システム（リース資産）	・・・	8,256,600 円
・日産キャラバン 1台（リース資産）	・・・	4,989,600 円
・日産セレナ 1台（リース資産）	・・・	3,682,800 円

## 5. 災害対策

### (1) 施設

ア. 省エネ対策事業を活用して、災害用発電装置を更新しました。

イ. 火災、地震、津波、風水害、不審者対策などを想定した防災訓練を毎月実施し、年2回の総合防災訓練（うち1回は消防署立会、1回は通報訓練）を行いました。

### (2) フレンド

年2回の防災訓練を実施しました。

### (3) 福祉避難所

奄美では、毎年のように避難が必要な台風が襲来しています。障害者やその家族にとって、一般避難所は、設備が整わず使いにくいだけでなく、他の避難者への遠慮もあり、安心して過ごす事ができないケースもあります。このような中、障害者や高齢者などのいわゆる災害弱者の避難への対策が求められます。本園では、福祉施設としての設備や専門性を活用し、奄美市との福祉避難所協定を更新いたしました。

## 6. 地域社会との連携

(1) 福祉施設は、重要な地域資源であると同時に、地域の皆様のさまざまな協力をいただくことで、円滑な運営が可能となります。このような考えに基づき、感染症予防を徹底しながら、できるかぎり施設の開放、地域行事への参加等により、地域住民との良好な関係を構築できるように努めました。

(2) 小学校との交流（学習発表会や運動会への参加、施設見学の受入れ等）を実施しました。

(3) 奄美看護福祉専門学校及び大島養護学校の実習生の受入れを積極的に行い、このような関係構築によって、本園への入職に繋がるよう連携を密にして取り組みました。

(4) 高齢者及び地域との交流促進（地域行事への参加）を行い、月2回のボランティア買い物も継続しています。

## 7. 苦情解決

(1) 利用者、ご家族からのサービスに関する相談、苦情に関しては、内容を正確に把握し確認を行ない、迅速に誠意をもって対応しました。

(2) また、施設入所、グループホームの自治会や、日常生活の中での意見につきましては、苦情、相

談、要望等に整理し、対応方法を考え解決できるように努めました。

## 8. 第2次中長期計画（3年目）

- (1) 障害者雇用の推進
- (2) 障害者が働ける場の整備提供
- (3) 短期入所ニーズへの対応
- (4) グループホームの将来構想の検討
- (5) 地域共生社会実現に向けた関係機関との協力体制の構築

## 9. 職員管理（職員体制）

※職員体制

（令和7年3月現在）

職 種	常勤	非常勤	業 務 内 容
管理者	1		業務・運営の統括
サービス管理責任者	3		各利用者の個別支援計画作成。サービス提供の確認・相談。支援員に技術的指導と助言
生活支援員	37	9	日常生活上の支援（食事・入浴、排泄）や相談
職業指導員	1		職業上の技術を習得させる訓練、援助。職場実習や就職活動に関する支援。
看護師	2	1	医師の指示の下、利用者の健康管理全般
管理栄養士・栄養士	1		利用者の栄養管理全般
調理員	3	3	給食の調理等
事務員	3	1	庶務、経理、利用者の預り金に関する業務
世話人	4	2	食事の提供、健康管理、金銭の援助、生活上の相談
嘱託医	1		利用者の健康管理及び、療養上の指導
相談支援専門員	3		相談支援業務（相談・サービス等利用計画作成）
合計	59	16	

<入職者> 18名（正職員1名、契約職員10名、パート職員7名）

<退職者> 10名（正職員2名、契約職員5名、パート職員3名）

<任用換え> 生活支援員2名 栄養士1名 相談員1名 世話人1名 事務員1名

<障害者雇用> 生活支援員 1名（常勤） 3名（非常勤）

## 10. 働きやすい職場環境を目指して

- (1) 「職員満足度調査アンケート」を実施し、その結果を基に職場環境を調えました。
- (2) ゆとりある職場環境づくりのため、ハローワークや専門学校と連携して職員の確保に努めました。